

平成24年度門川町の資産保有状況

建物などが古くなり
価値が下がった

① 資産

[財産]

- 土地や建物など
平成24年度 286.5(億円)
平成23年度 295.5(億円)
- 出資金・基金など
平成24年度 24.9(億円)
平成23年度 20.0(億円)
- 現金・預金など
平成24年度 20.2(億円)
平成23年度 19.1(億円)

基金などの
お金が増えた

② 負債

[今後支払う債権など]

平成24年度 63.9(億円)
平成23年度 64.4(億円)

将来世代の
負担が減った

③ 純資産

[すでに支払ったお金]

③ = (① - ②)
平成24年度 267.7(億円)
平成23年度 270.2(億円)

負債が減ったが
現金資産も増えた



平成23年度より負債が減って、
現金資産が増えました。
このことから、平成23年度より
平成24年度の財政状況が良くな
っていることがわかります。



バランスシート 平成23年度との比較

資産	負債 0.5億円減
3.0億円減	純資産 2.5億円減

- 資産減の要因・・・資産の減価償却
- 負債減の要因・・・地方債や退職手当の将来負担が減少
- 純資産減の要因・・・現金等の資産を形成

住民1人あたりの バランスシート

資産	負債 33.7万円
174.6万円	純資産 140.9万円

※ 平成25年3月31日現在の住民基本台帳人口
18,995人で算定

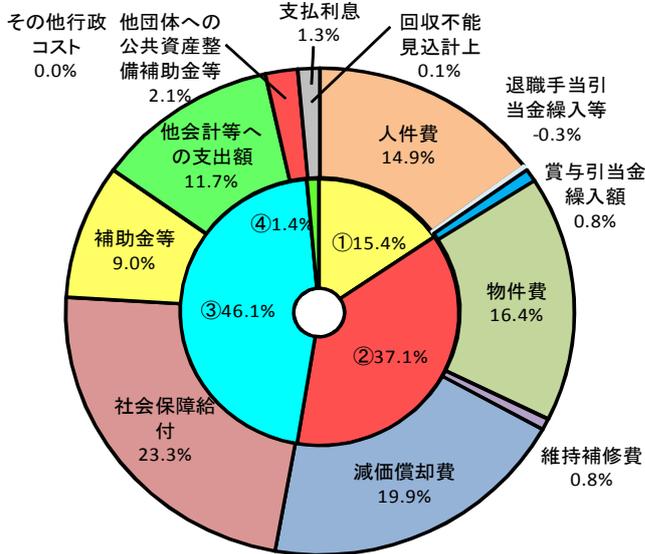
- ～平成23年度と比較して～
- 資産・・・1.4万円減
- 負債・・・0.2万円減
- 純資産・・・1.2万円減

1年間の行政コストと対価

	総額(千円)	住民1人あたり(千円)
※ ①人にかかるコスト 	953,585	50
②物にかかるコスト 	2,291,540	121
③社会保障や補助金のコスト	2,844,489	150
④その他コスト 	87,297	5
使用料・手数料などの収入	281,695	15

土地や建物の取得や基金の積立て、借金の返済に係らない支出であるコストや、行政サービスの対価として得られた収入を計上しています。

性質別行政コスト割合(%)



※ 人にかかるコストの内訳は？

人件費…919,716千円

退職手当引当金繰入等…▲19,371千円

賞与引当金繰入額…53,240千円



何にどれだけコストがかかっているのかわかるね。

住民一人あたりの経費は、32.6万円です。医療費や生活保護などの社会保障費が全体の約23.3%を占めています。

住民一人あたり経費

土木費 4.3万円

道路・港橋・公園などの整備・管理など公共施設の整備にかかる経費

教育費 3.2万円

学校、社会、生涯学習活動、芸術・文化・スポーツの振興など教育全般にわたる経費

民生費 13.4万円

児童、高齢者、心身障害者の福祉施設の整備や運営経費

環境衛生費 3.1万円

健康増進、疾病予防、清掃費、環境保全などの経費

産業振興費 2.3万円

農地改良などの農林水産業や観光など商工業にかかる経費

消防費 1.5万円

消防車や消防設備や整備にかかる経費

総務費その他 4.4万円

町の運営や事務等にかかる経費

議会費 0.4万円

支出議員の報酬、議会の運営に関する経費

支出合計 住民1人あたり 32.6万円

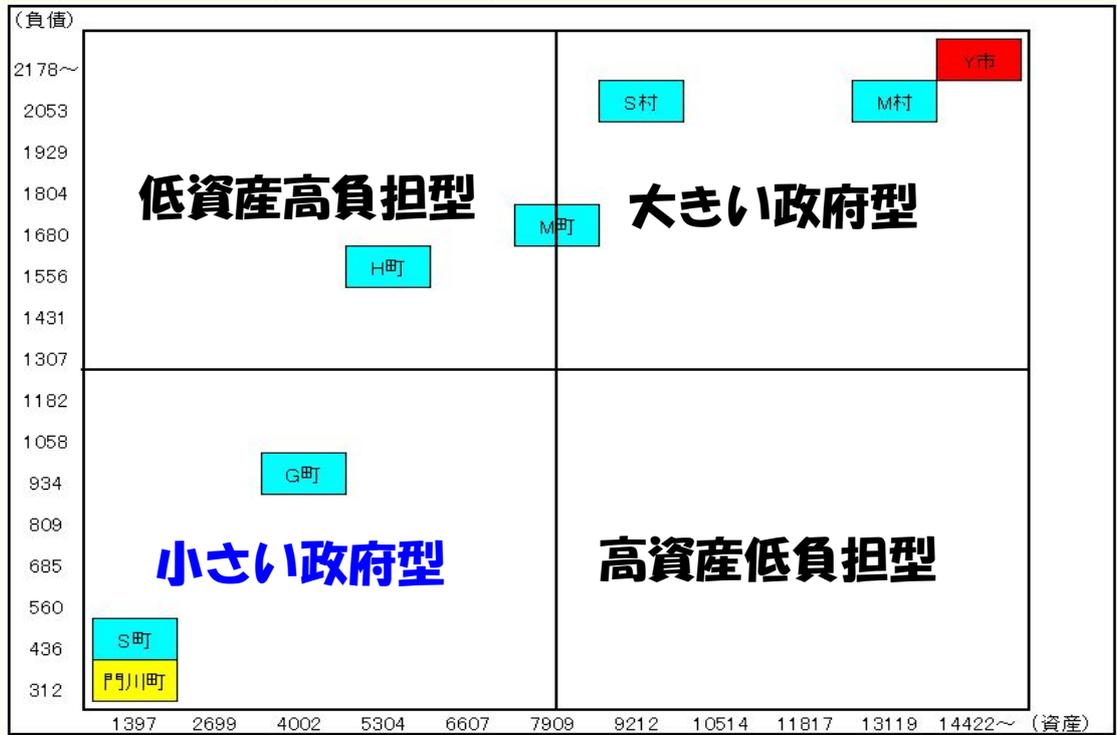
※平成25年3月31日現在の住民基本台帳人口18,995人で算定

～財務書類を利用した分析～

(単位:千円)

高負担

(1)自治体の類型別分析



低負担

低資産

高資産

※ 本図は住民1人あたりの算定となっています。

※ 図内のA~Fは、市や町を表しています。

門川町は**小さい政府型**にあるといえます。

大きい政府型 …資産も多いが、負債も多い。人口の少ない地域に多い。

低資産高負担型 …資産は少ないが、負債は多い。

小さい政府型 …資産も負債も少ない。基金や現金がある場合も多い。

高資産低負担型 …資産が多く負債が少ない。



「小さい政府型」は、資産も負債も少ないことを示しています。

資産が少ないのは、良くない感じを受けるかもしれませんが、固定資産が少ないことは、今後の施設老朽化等に伴う維持補修費が少なく済むという良い要因もあります。